

○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

「5か年加速化対策」により河床掘削・堤防整備などが推進

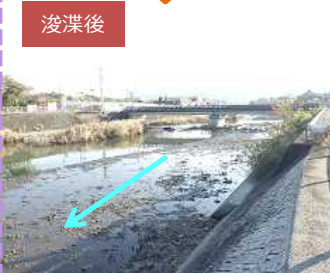
河床掘削・樹木伐採

からす
鳥川浚渫（香南市）

河積阻害率：20%



浚渫後



河床掘削により流下断面の確保

堤防の強化・河川の拡幅

おくだ
奥田川改修（いの町）



改修後



堤防強化による治水能力の向上

整備が完了（安全・安心を確保）

未整備箇所

やなせ
柳瀬川（越知町）



H26.8台風12号による河川氾濫により道路が冠水



整備のため、継続的な予算の確保が必要である

未整備箇所がまだまだあり!

○大規模特定河川事業

あき じぞうじ しなね くさか
安芸川、地蔵寺川、志奈祢川、日下川で対策中

浸水被害が頻発する河川において集中的に事業を実施

背後に多くの住宅を抱える
志奈祢川（高知市）



河道の拡幅により治水能力の向上



ネックとなる箇所の整備等を急ぐ!



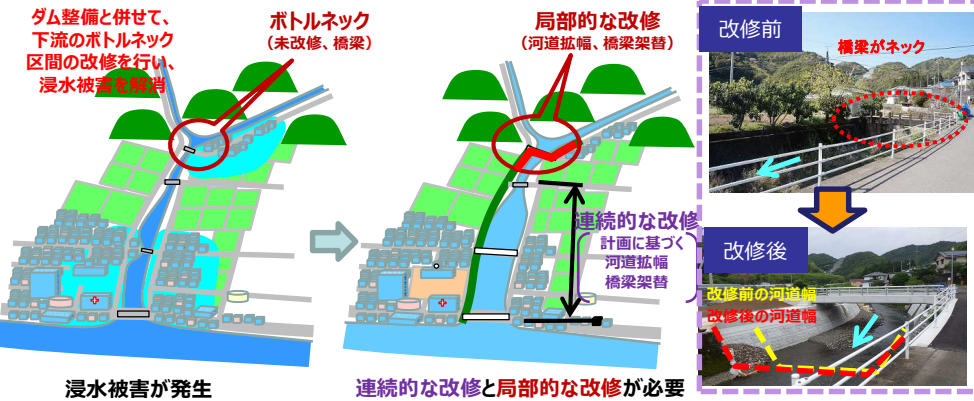
政策提言

- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、河床掘削・堤防整備などが推進され、**激甚化・頻発化する豪雨に対応する「治水対策」**が大きく前進しています。
- ・「大規模特定河川事業」により、**浸水被害が頻発する河川において、抜本的な治水対策を集中的に推進**しています。
- ・これらの事業を継続させるため、**引き続き計画的に事業が執行できる予算の措置**が必要です。

○地方債制度を活用した局所的な河川改修（緊急自然災害防止対策事業債）

ボトルネックとなっている箇所を、局所的な改修により、一定期間で集中的に整備

上流のダム建設に併せた局所的な改修
和食川（芸西村）



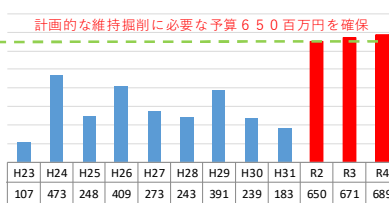
○地方債制度を活用した河川・ダムの計画的な維持掘削（緊急浚渫推進事業債）

浸水被害の軽減のため、河川やダムを定期的に点検し、掘削や樹木伐採等の適切な対策を行う。



県では地方債制度を活用し、計画的な維持掘削に必要な予算を確保（市町村も活用）
年間650百万円（掘削量：20万㎡程度）

高知県の維持掘削予算（単位：百万円）



高知県の永瀬ダムにおける現状と課題

- ◆ 近年頻発する豪雨に伴う広域的な山腹崩壊の発生などにより、ダム貯水池において堆砂が進行。
- ◆ 令和2年度まで、県単費により維持浚渫等に努めてきたが、土砂流入が県単費で対応できる量を大きく上回る。



【本格的な浚渫の促進】

- ◆ 令和3年度から洪水調節容量を確保するため、緊急浚渫推進事業債を活用して、ダム上流部でこれまでの4倍となる6万㎡/年の浚渫を実施。



山腹崩壊の土砂が貯水池に堆積



緊急浚渫推進事業債を活用することで、堆砂の進行が軽減される

政策提言

- ・「緊急自然災害防止対策事業債」の活用により、ボトルネック箇所の局所的な改修が県下各地で進んでいます。
- ・「緊急浚渫推進事業債」の活用により、河川の計画的な維持掘削、ダムの洪水調節容量を確保するための浚渫を県下各地で行っています。
- ・住民の安全・安心を確保する、これらの事業を継続的に推進するためには、有利な地方債制度が必要不可欠です。